



新年のご挨拶

自衛隊熊本地方協力本部

本部長

1等陸佐

笹島 昭佳



新年あけましておめでとう
ございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、自衛隊熊本地方協力本部に対し、格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、日本を取り巻く安全保障環境が戦後最も厳しく複雑化していることは皆様周知の通りです。また、自衛隊の人材確保が困難を極めていることも報道等でご承知のことと思います。政府は人的基盤の強化は喫緊の課題であるとの認識のもと、人材確保のための募集能力の強化、人材の有効活用、生活・勤務環境及び給与面の処遇向上等あらゆる選択肢を排除せず、その強化に取り組んでいくことが方針となっております。

人的基盤の充実の任務を担う地本は、政府・防衛省の方針に従い、試行錯誤しながら、

自衛官の募集、退職自衛官の就職援助、予備自衛官等の管理等に関する業務に取り組んでいます。

本部長を拝命してから二年近くになりますが、自衛隊の活動が地域の皆様等、多くの方々に支えられて成り立っており、その協力なくしては任務を円滑に遂行することが困難であることを痛感させられてばかりいます。特に、地本は、各学校や自治体、退職自衛官の雇用企業、自衛隊家族会等の関係組織等、地域の皆様に直接ご協力いただくことが不可欠です。皆様におかれましては、何卒、本年も地本の活動に関して変わらぬご理解とご支援をお願いしたいと思っております。また、迎える令和7年は巳年となります。力をためていたものが芽を出す「起点」と実（み）をかけた「実を結ぶ」と年ともいわれています。地本は、これまで黙々と努力してきた成果が今年芽を出し、実を結ばせることができるよう「燃やせ、情熱」「深めよ、連携」のモットーのもと、元氣澁刺頑張ってまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

最後になりますが、熊本地本と皆様の絆が益々強固になること、そして本年が皆様にとりまして幸多き素晴らしい年になりますことを祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



発行所

自衛隊熊本地方協力本部

〒860-0047
熊本市西区春日2丁目10番1号
熊本地方合同庁舎B棟3階
TEL 096-297-2053

熊本地本 検索

<https://www.mod.go.jp/pco/kumamoto/>

迎春

令和七年元旦

新年のご挨拶

自衛隊熊本地方協力本部

後援会 会長

野々口 弘基



新年明けましておめでとうございます。

自衛隊熊本地方協力本部をはじめ、ご協力を頂いております関係諸団体の皆様方には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。熊本地本後援会は、熊本地本に対する支援協力と防衛に関する国民の理解を深めるための活動を行うことを主たる目的としています。

さて昨年の国際情勢ですが、ロシアによるウクライナ侵略が長期化する中、急速に接近したロシアと北朝鮮の連携、宗教及び歴史が複雑に絡み合ったイスラエルとハマスの衝突、多方面に対する中国による一方的な力による現状変更の試み等、国際情勢は民主主義と専制主義の対立及び民族や宗教の対立と今までにない不安定かつ先行きの見えない状態が同時に発生している状況となっております。

また国内では、地球温暖化に伴う異常気象の影響から豪雨や台風等の気象災害、そして地震など毎年のように発生する自然災害に対し、常に自衛隊は災害派遣をするような状態であります。そのような中でも、24時間継続した航空・

領海の監視任務に従事し、日本の独立と平和を陰で守る自衛隊の皆様のお陰で、安心して生活を送れていることに敬意と感謝を申し上げます。熊本地本後援会は、国防の柱である自衛隊に対し、微力ではありますが貢献していきたいと考えております。何卒本年も熊本地本後援会に対し、皆様方から、なお一層のご支援・ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、熊本地本の今年一年のご活躍と協力諸団体の皆様方にとつて、本年が輝かしい年になりますことを祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

自衛隊熊本地方協力本部
後援会役員紹介

顧問	同	梨子木 和秀
副会長	副島 健史	
理事	原 亨	
同	南 博	
相談役	光永 邦保	
同	福田 泰正	
同	芹川 正信	
事務局長	木庭 健	
会計	森山 澄江	
監事	實田 逸夫	
同	吉本 孝寿	



新春のお慶びを 申し上げます

熊本県 自衛隊家族会

会長
光永 邦保



新年明けましておめでとう
ございます。

自衛隊熊本地方協力本部並
びに防衛関連諸団体の皆様
におかれましてはご家族共々
やかな新年をお迎えのこと
とお慶び申し上げます。

ロシアの一方的な侵攻によ
り始まったウクライナ紛争も
まもなく3年が経過し、我が
国周辺における中国の威圧的
な行動や北朝鮮によるミサイ
ル発射実験等は一方向に収まる
気配がありません。

また国内におきましては、
災害派遣活動等を通して自衛
隊に対する信頼度・好感度は
高い数字を示しておりますが、
安全保障に対する理解度はあ
まり進展しておりません。募
集の厳しい現状に至っては、
ほとんど関心が得られていな
いように思います。

自衛隊家族会は昭和30年に
「自衛隊父兄会」として発足し、
やがて70年を迎えます。「防衛
諸団体」としてひとくくりに
されることしがしばしばですが、

家族支援等に関わる協定を自
衛隊と締結し、県下各地に基
盤を持つ私たち自衛隊家族会
の役割は近年益々増大してい
るように思います。「自衛官の
最も身近な応援団」としてそ
の真価が問われていると言っ
ても過言ではありません。

昨年は健康増進地における
大規模演習の一部や北熊本駐
屯地における災害時緊急登庁
支援訓練などを研修させてい
ただきました。いずれも初め
ての試みです。

これからも自衛隊に対する
理解を一層深め、いざという
時にしっかりと支援できるよ
う努めて参りたいと思えます。
皆様からの更なるご指導ご
鞭撻をお願い致しまして、新
年のご挨拶とさせていただきます。
本年もどうぞ宜しくお願い
致します。

熊本県自衛隊 家族会役員紹介

副会長(各地区・協議会会長兼務)

島村 明子
高田 昭次
大城戸 幹雄
猿渡 孝敏
平山 洋生
本田 英一
吉梅 安文
家興 利昭
若山 幸信
井上 明和
齊藤 喜美子
大塚 英俊
藤原 良一
南田 智也
原田 雅代
古場 雄一

熊本県隊友会

会長
福田 泰正



新年明けましておめでとう
ございます。昨年は、ロシア
のウクライナ侵攻が継続する
とともに、我が国周辺におい
ては、中国が初の領空侵犯や
接続水域侵入を繰り返し、北
朝鮮は、弾道ミサイル発射を
繰り返して緊張度が高まってい
ます。米国では、トランプ氏
の再登場が決まり、一方我が
国においては30年ぶりという
少数与党の石破政権が発足し、
日米関係への影響が注目され
ています。

熊本地方協力本部の皆様
におかれましては、地域と自衛
隊の総合窓口として全国的な
少子化と熊本への台湾企業の
進出という厳しい環境の中に
あって自衛官等の募集及び広
報・予備自衛官業務並びに退
職自衛官の就職支援等に関し
て日頃から並々ならぬご尽力
をされていることに対し、改
めて深甚なる感謝と敬意を表
します。昨年、熊本駅前で開
催された自衛隊フェスタ24は、
盛況のうちに終えられたこと

と聞いており、ご同慶に堪え
ません。
隊友会の活動に対しては、
定期的に情報提供をしていた
だくとともに、今年は、宮崎
で行われました九州・沖縄地
区ブロック研修会への支援を
始め、各種行事に対してご協
力をいただき感謝申し上げます。
昨年は、隊友会として、
熊本駅前における募集活動に
協力させていただきました。
また、予備自衛官の永年勤続
表彰式においては、お祝いの
言葉を述べさせていただきました。
した。隊友会は、自衛官のO
Bの組織として、従来以上に
国民と自衛隊との架け橋とし
て活動して行く所存ですので、
熊本地本を始め、防衛諸団体
のご協力を宜しくお願い致し
ます。

令和7年が、熊本地本の皆
様にとって巳年の如く成長と
発展を遂げられて、成果を挙
げられることを祈念しまして、
新年のご挨拶とさせていただきます。

熊本県隊友会役員紹介

副会長
森崎 淳一
村上 隆英
森川 洋治
松原 和雄
松浦 信久
源 秀光
坂本 恒雄
吉川 輝之
永松 啓子
中村 一志
甲斐 憲明
中村 健一
原 圭三
渋谷 由佳利
赤星 真弓
黒木 康代
川本 収三
常任理事兼事務局長
實田 逸夫

熊本県防衛協会 青年部会

会長
橋本 龍生



謹んで新春のお慶びを申し
上げます。

平素は熊本県防衛協会青年
部に対し、ご厚情を賜り衷心
より御礼申し上げます。特に
第58回 九州・沖縄地区防衛
協会連絡協議会「熊本大会」
に際し、ひとかたならぬご理
解とご協力をいただき深く感
謝いたしております。前回の
大分大会から5年ぶりの大会
となりましたが、関係各位の
皆様のおかげをもちまして、
盛大に開催出来ましたことを
ご報告申し上げます。

さて、我が日本国の安全保
障は、平和の理念に基づき安
全を担保される状態を維持さ
れることであり、現在必要と
される事項としては、経済力
や技術力、外交力や防衛力な
どです。ちょうど今から30年
前、国際社会において、人間
の安全保障という概念が初め
て公に取り上げられました。
つまり国家とは国民・領土領
海などの領域・主権の3要素
から成り立っており、安全保
障とは人の性質によって大き
く左右されるのです。そして、
私達国民が安全保障について
熟考し、行動していかなけれ
ばならないということです。

本年は巳年で、正確に申し上
げますと「乙巳(きのとみ)」
といい、「再生や変化を繰り返
しながら柔軟に発展していく」
という意味です。まずは、しっ

かりと自衛について学び、ま
た世界情勢に目を向けながら、
一人一人の意識改革を行って
いき、大人(たいじん)へと成
長すべきだと考えます。
本年、熊本県防衛協会青年
部は、各地での自衛隊研修を
はじめ、講演会などを通して
更なる防衛意識の向上を目指
し、また熊本地方協力本部の
方々と連携しながら、市民の
防衛意識の醸成と自衛隊への
支援も積極的に行ってまいり
ますので、引き続きのご指導
ご鞭撻を賜りますよう、宜し
くお願い申し上げます。

熊本県防衛協会 青年部会役員紹介

副会長
津留 貴裕
事務局長
渡邊 俊一郎

自衛隊熊本地方 協力本部OB会

会長
清水 裕美



新年おめでとうござい
ます。
自衛隊熊本地方協力本部の
皆様をはじめとして各協力諸
団体の皆様には、輝かしい新
年をお迎えのことと心よりお
慶び申し上げます。

旧年中は、私も熊本地本
OB会に心温まるご支援ご協
力を賜りまして、厚く御礼申
上げます。

昨今、国際情勢が混迷を深
める中、我が国周辺の安全保
障環境は激変、中・露は、領
空領海侵犯を繰り返す戦略的
協力レベルを高め、威嚇とも

とれる試みが頻発しています。
核・ミサイル開発を急ぐ北朝
鮮は、ロシアと「包括的戦略
パートナーシップ条約」を締
結しウクライナ侵略へ加担す
る等、急速に連携を深めてい
ます。一方、国内では、若年
層労働人口の急減によって人
材確保が深刻な状況に陥り、
企業の成長や経済再生を妨げ
ている要因ともなっています。
自衛隊にあっても例外ではな
く、国家防衛及びデフレ脱却
など喫緊の課題が山積してい
る中で、一時も政治の停滞は
許されず重要政策の早期実現
が待たれます。

OB会では、7月に催され
た「自衛隊フェスタ24」の中、
「自衛隊募集動画コンテスト」
に応募された作品を選考審査
する機会をいただきました。
いずれの作品も若者の感性漂
う迫力あるものばかりで優秀
をつけ難く、総じて自衛隊の
魅力を広く発信する素晴らしい
イベントでした。

本年も熊本地本OB会では地
本と緊密に連携し、現職時に
培った知識や経験により隊員
皆様から頼られる精神的な支
えとなるべく努めて参ります。
最後に、笹島本部長並びに
県内各地で奮闘中の地本の皆
様にとりまして本年が更なる
飛躍の年となりますよう、併
せまして協力諸団体の皆様方
のご健勝とご多幸をご祈念申
し上げ、年頭のご挨拶とさせ
ていただきます。本年も何卒
宜しくお願い申し上げます。

自衛隊熊本地方協力本部 OB会役員紹介

副会長
赤星 朝久
源 秀光
同 桑原 三四郎
事務局長
瀬井 幸一郎
相談役
阪本 孝博
同 両角 順一郎



副本部長

明けましておめでとうございます
各課室・各所より新年のご挨拶



総務課



募集課



援護課



渉外広報室



熊本分駐所・
熊本募集案内所



宇城募集案内所



玉名地域事務所



山鹿地域事務所



菊池分駐所



八代出張所



水俣地域事務所



人吉地域事務所



阿蘇地域事務所



天草駐在員事務所

年男による新年の抱負

新年、明けましておめでとうございませう。4回目の年男を迎えました。予備自衛官係として2年目の今年は予備自衛官の充足率及び出頭率向上を図り、職務においても家庭においても任務の完遂を目指し精一杯努力します。



援護課
陸曹長 島崎 臣二

4回目の年男を迎えることとなりました。地本勤務も2年目を迎えますが、今まで以上にいろいろな業務に取り組み、各課室と連携して自衛隊について積極的に広報していきたいと思っています。



渉外広報室
事務官 吉田 勇治

早いもので4回目の年男を迎えることとなりました。巳年生まれの人によくしつこいと言われるですが、何事にも粘り強く、我慢強く挑んでいきたいと思っています。



総務課
事務官 田中 一徳

5回目の年男、15歳で少年工科大学校に入隊以来自衛隊生活45年目、事務官等の役職定年最終年となります。自衛隊生活の総決算、集大成の年となるよう誠心誠意職責を全うするとともに、部員の皆さんと良い思い出を作りたいと思います。



副本部長
事務官 榮樂 光浩



蛇は脱皮を繰り返す生き物です。同様に、自分も新しい環境や状況に柔軟に対応し、古い習慣や思考パターンを脱ぎ捨てることを心がけ、自己変革を進める一年とする。また、蛇は静かに獲物を狙い、適切なタイミングを見計らって行動します。巳の年男として、忍耐力を養い、焦らずに目標達成に向けて粘り強く取り組みます。



天草駐在員事務所
2等海曹 園田 憲辰

今年は年男ということですが、もうあまり若くはありませんので、健康面に気を付けながら、いつもと変わらぬ日々を過ごせる様に、程よく頑張りしたいと思います。



人吉地域事務所
1等陸曹 茂田 一城

日頃より皆様からのご指導、ご支援を頂き無事に年男を迎えることができ、大変感謝しております。ありがとうございます。今後も、健康に留意しながら一期一会を大切に、頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。



阿蘇地域事務所
1等陸曹 佐藤 竜

感謝狀贈呈者

防衛基盤の育成

留田	貴裕
福崎	泰正
森上	淳一
井島	朋和
上村	明子
岡興	隆規
家濱	利昭
小東	慶一
元村	浩志
田中	幸仁
宮本	美加

樣樣樣樣樣樣樣樣樣樣樣樣

自衛官等の募集

水川町 殿
 苓北町 殿
 大津町 殿
 熊本県立翔陽
 熊本市立千原
 学校法人九州
 熊本県立東稜
 熊本県立天草
 熊本県立人吉
 学校法人熊本
 学校法人東海
 林 彩 様

殿殿殿殿殿

退職自衛官の就職の援助

熊本交通運輸株式會社
弘濟企業株式會社

殿殿

予備自衛官等の雇用

有限会社 吉祥
株式会社 ワタナベ
有限会社 沢産業

殿殿殿

感謝状贈呈式では、熊本地本の業務に多大な貢献をいただいた自治体、企業、高校、大学17団体と個人12名に対して、本部長から感謝状と記念品を贈呈しました。

感謝状贈呈式後は、西部方面音楽隊によるオーボエとファゴットのアンサンブル形式での素晴らしい音楽演奏を鑑賞し、引き続き記念祝賀会食では、防衛協力主要団体役員と後援会及びOB会と参加部員との懇親が深まり、盛会のうちに所望の成果を収めることができました。

今回の記念行事により、熊

11月23日(土)創立18周年記念行事を熊本市内のホテルにおいて、感謝状受賞者及び防衛協力諸団体の主要役員、後援会及びOB会役員を招待して感謝状贈呈式、音楽演奏、記念祝賀会食を実施しました。

本地方協力本部は任務達成のために部員一同が「燃やせ、情熱」と「深めよ、連携」を合言葉に一丸となって各種事業に積極的に取り組んでいくことを誓い記念行事を終了しました。

▲ 感謝狀贈呈式（謝辭）



感謝狀贈呈式(授与)



記念祝賀会食（一丁締め）

記念祝賀会食（後援会会長挨拶）

筑城基地航空祭前日見学会

11月23日(土)に航空自衛隊築城基地において実施された、築城基地航空祭事前見学会に募集対象者を招待し見学ツアーを実施しました。

見学ツアーは、第8航空団司令部監理部の広報による事前見学会の誘導・案内から始まり、令和2年度末をもって引退したF-4戦闘機の前で記念写真を撮り終えるのと、車両展示のエリアでは88

トを試着し、基地防空用地対空誘導弾用車両の試乗を楽しました。その後、格納庫に移動し、航空自衛隊70周年記念のプロジェクションマッピングを鑑賞したり、航空機の

体験型に扮したりしていました。航空機展示のエリアでは、T-7初等練習機やF-2戦闘機、U-4多用途支援機が並べられており、参加者は整然と並べられた航空機の写真撮影に熱中していました。その後はお待ちかねのC-

2 輸送機体験搭乗に向けて、認識票を首にかけてエプロン地区へ向かい、だんだん大きく見えてくるC-2輸送機に参加者は声が弾む様子でした。



防爆ベストの重さを感じさせない爽やかさ



大型破壊機救難消防車にも試乗



初めての航空機体験塗装



◀F-4戦闘機の前で
記念撮影



◀ 横向きで感じる重力が新鮮でした



▲いざこゝ 2 輸送機に搭乗

C-2輸送機体験搭乘も堪能！！

九州・沖縄地区防衛協会協議会と同時開催

～自衛隊募集・広報ブース in サクラマチクマモト～

11月26日(火)、サクラマチクマモトにおいて自衛隊募集・広報ブースを開設しました。

本イベントは、九州・沖縄地区防衛協会協議会の開催に併せて、地域の皆様に自衛隊の活動をより知っていただくことを目的に実施しました。

会場では、広報官による説明コーナーの他、活動パネル展示、制服試着体験、自衛隊顔出しパネル、実際に活動する隊員が背負う重量の背のう体験、自衛隊缶バッジ作成体験というさまざまなイベントを実施しました。特に顔出しマッチョパネルは人気であり、多くの方が足を止めて撮影を楽しんだり、制服試着体験では団体の学生たちがそれぞれ気に入った制服を着用して楽しそうに記念撮影をしていました。中にはヘルメット、迷彩服、背のうのフル装備を体験する学生もみられました。缶バッジ作成体験では、自衛隊装備品等の白色デザインに色塗りして自分だけのバッジが作成できるため、どれにするか悩んでいる方の姿も多くみられました。子供たちが作成したバッジを手に「ママ、つけて♪」と言って胸につけてもらう姿は微笑ましかったです。説明コーナーでは、学生を中心に多くの方が来られ、中には保護者の方と一緒に話を聞く姿も見られました。広報官は懇切丁寧に説明し、説明を受ける方も真剣な表情で聞き入っていました。イベント終盤では、自衛隊熊本地方協力本部マスコットキャラクター「ゆうポン」が登場し会場を盛り上げました。子どもたちはチャームポイントの尻尾やおなかに触れ、ゆうポンと一緒に写真に納まっていました。

また、サクラマチ広場では第42即応機動連隊と西部方面特科連隊による、16式機動戦闘車及、19式装輪自走155mmりゅう弾砲及びスキャンイーグルの展示が行われ、あいにくの雨の中、多くの方が傘を差しながらも興味深く見学していました。見学者からは、「どういった装備品なんですか?」、「どこから来ているんですか?」などの質問があり、支援部隊の隊員は丁寧に説明していました。



ゆうポン登場!



広報官による説明コーナー



装備品展示コーナー

予備自衛官5日間招集訓練を支援

～いざという時のために!迷彩服を身にまとい訓練に励む～

10月18日(金)から22日(火)までの間、第42即応機動連隊が担任し、北熊本駐屯地で実施された熊本県内における今年度5回目の予備自衛官5日間招集訓練を支援しました。

同訓練には予備2等陸佐から予備陸士長までの予備自衛官135名が参加し、久しぶりの迷彩服を身にまといました。

防衛法制、武器・体育訓練や警備訓練、特殊武器防護訓練など様々な訓練が実施され、練度の維持向上を図りました。10月中旬とはいえ気温が28度を超える日もあり、参加者が額に汗し訓練に励み、真剣な眼差しで取り組む姿を見ると、「さすが元自衛官」という印象を受けました。

防衛法制を受講した参加者からは、「自衛隊への恩返しのために志願したが、現役同様、重要な任務を担うため、気を引き締めて訓練に臨みたい。」と話していました。

熊本地本においては、訓練期間を通じて、即応予備自衛官有資格者に対する志願勧誘や「応招確認システム※」の登録を促進するとともに、訓練2日目には永年勤続者表彰式を実施して、本部長表彰及び最終任期満了者に対する西部方面総監顕彰の受賞者8名に対し、本部長から伝達が行われ、予備自衛官として職務に精励した功績が称えられました。

予備自衛官制度に関しては、近年の災害派遣活動での活躍もあり、部内外における期待が高まっている制度であり、自衛隊熊本地方協力本部では、その期待に応えるためにも5日間招集訓練の位置づけは大変重要であるとの認識のもと、今後も訓練出頭環境の醸成に努め、訓練参加を促進していきます。

※応招確認システムとは、災害などの発生に伴い、予備自衛官等に対し、安否・出頭可否の確認を行うシステムです。



永年勤続者表彰式



武器訓練



通信訓練

予備自衛官
表彰受賞者紹介
(勤続5年以上)
熊本地方協力本部長表彰
(上限任期満了退職)
予備准尉 大石 実
予備3佐 井口 幸光
予備1尉 田上 敏也
予備3尉 内田 巳毅雄
同 准尉 田辺 勝也
予備曹長 今井 幹春

人事往来

転入者
募集課 3等陸佐 村田 哲崇
(教育研究本部付)
渉外広報室 1等陸尉 桑原 博己
(第24普通科連隊)
転出者
第14普通科連隊 2等陸佐 佐怒賀 亮太
(熊本分駐所長兼 熊本募集案内所長)

表彰者紹介

第3級賞詞(車両無事故15万キロ)
八代出張所 陸曹長 中村 清
第4級賞詞(職務遂行)
熊本分駐所 2等陸佐 佐怒賀 亮太

祝 第2世誕生

天草駐在員事務所
1等陸曹山田 博基

やまだ えれな
長女: 山田 恵麗奈
令和6年8月16日誕生

我が家にも待望の第一子が誕生しました。
2,440gと少し小さめでしたが、日々すくすくと育っています。
これからも家族皆で仲良く頑張ります。



退職自衛官を採用して

雇用企業様の声

総合警備保障株式会社

九州採用センター長

この たかし
河野 隆志 様



1 企業の概要及び事業内容等

ALSOK グループは、創業以来、警備業におけるリーディングカンパニーとして、一貫して「安全・安心」な社会の実現を目指してきました。主要業務であるセキュリティ事業、その経験とノウハウを活かした介護や見守り、ビルメンテナンスや付帯工事のほか、防災事業、BCP(事業継続計画)、テロ対策など、企業活動を多方面からサポートしています。

ALSOK グループは、「安全・安心」な未来を支えるため新しい価値を創造し続けます。

2 退職自衛官の採用理由

ALSOK では、さまざまな職種の社員達が多様なフィールドで能力を発揮し連動することで、社会やお客様の「安全・安心」を総合的に支えています。規律正しい自衛官として勤められた実力と、そこで培われた「安全・安心」に対する高い意識と習慣性は、弊社の社員として必要であり、即戦力としての活躍が期待されます。

自衛官として培われてきた経験と豊富な知識をフルに発揮され、キャリアアップを目指し、まじめに業務と向き合ってください方が ALSOK には多数在籍しておりますので、弊社では今後も積極的に採用を続けます。

3 退職自衛官の職務内容及び勤務の様子

弊社には、任期制隊員の方に多数ご入社いただいております。初任研修で基本教練の実習を行っておりますが、同期の方々の見本となるべく行動をとってください、完璧な動作で他の社員を圧倒する方が多い印象です。

各事業所へ配属になられた後も、高い志を持たれている方が多く、特に機械警備隊員や警備輸送隊員として活躍されています。キャリアを積まれた後は、副隊長・隊長の役職に就かれ運用の中核として活躍していただいております。